

炉定数

炉定数 ろていすう

炉物理や核設計の計算に用いられるパラメータ。すなわち、エネルギー変化についてグループ化した核断面積をいい、原子炉設計上、最も重要な定数である。群定数とも呼ばれている。原子炉の設計に用いられる核反応断面積には、核分裂断面積、中性子捕獲断面積、中性子散乱断面積等がある。実際の設計にこれらの断面積の数値を用いるときには、あるエネルギーの巾毎に1つの代表値を選定して用いている。

<登録年月>

1998年01月
